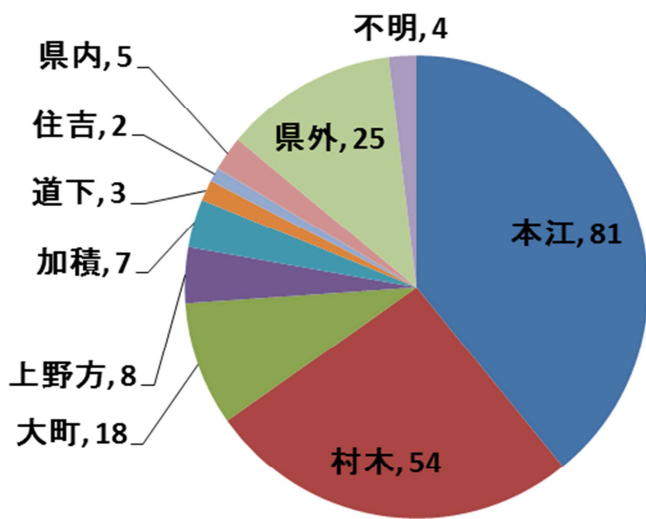


大町・村木・上野方・本江小学校統合校校名募集結果(平成28年9月12日)

募集期間	平成28年8月1日から9月2日まで
応募件数	207件
募集方法	大町、村木、上野方、本江地区へ応募用紙を回覧板にて周知 大町、村木、上野方、本江各小の児童を通じて保護者へ配付 西部中学校生徒を通じて保護者へ配布 大町、村木、上野方、本江の各地区公民館及び図書館に応募用紙を配置 4地区内幼稚園・保育園、児童センターに応募用紙配置 市広報及び市HPにて校名募集の周知

地区別応募状況(応募件数)



地区別の応募状況は、本江地区が81件(約40%)と最も多く、次いで村木地区54件(約25%)となり、大町地区、上野方地区を含めた統合4地区で全体の3/4を超える件数があった。

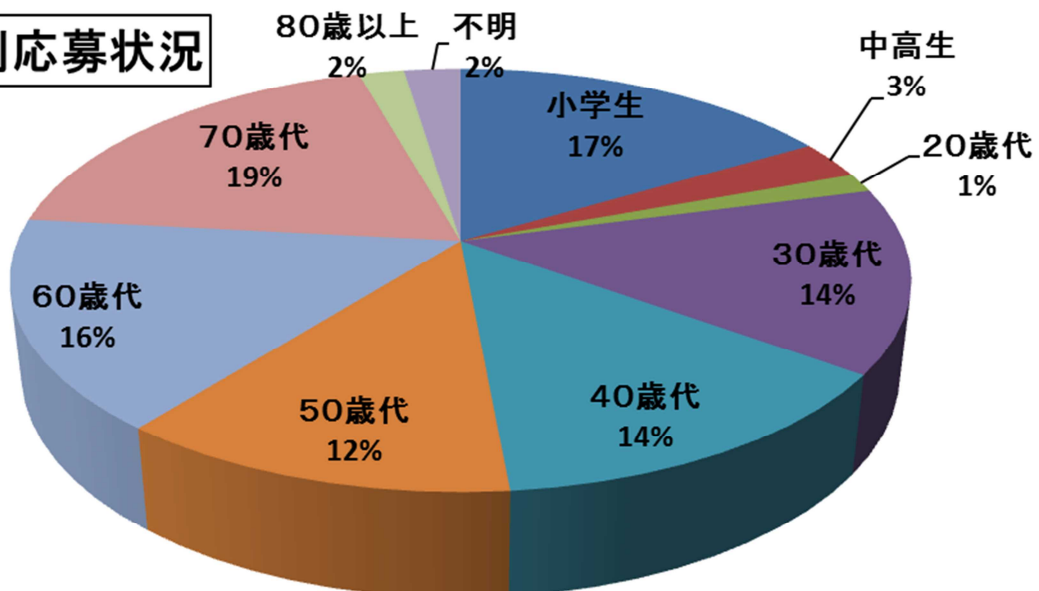
その一方で魚津市以外の県内より5件、県外より25件の応募があり、市外在住でありながら統合4校の出身者からの応募も見受けられた。

年代別応募状況

年代別では、小学生については、清流小の応募状況と比較すると前回は37%と最も多かったが、今回は17%であり応募件数も約半分になっている。中高生、20歳代の応募については前回同様、応募が少なかった。

そのほかの年代ではほぼ同じような割合で応募があるが、親世代(30歳代、40歳代)よりも祖父母世代(60歳代、70歳代)からの応募が比較的多く、80歳代や90歳台の方からの応募もあった。

年代別応募状況



応募名別の分類

応募のあった校名案を単純に集計すると右の表のとおりとなる。

「中央（45件）」が最も多かったものの、「魚津中央（4件）」、「さくら中央（1件）」、「中桜（1件）」などもあった。「魚津（6件）」、「小津（3件）」といったものや「四つ葉（6件）」、「さくら（6件）」などの件数も多かった。

校名	件数
中央	45
魚津	6
四つ葉	6
さくら	6
魚津中央	4
青空	3
小津	3
海峰	3
鴨川	3
美里	3

キーワード別の分類

更にキーワード（イメージ）で分類してみると下表のような結果であった。

一番多かったのは「中央」で、魚津中央など読み方で「ちゅうおう」が含まれるものは53件であった。地理的条件で魚津市の中心にあり、統合4地区の中心に位置するといった理由や、古くから文化、経済などの中心として栄えてきたなどの理由が多かった。応募者については比較的高齢者が多くなっている。

次いで多いのは「海・風・空」に関するもので、「有磯」、「あいの風」、「海峰」、「青空」など31件であった。「蜃気楼（ミラージュ）」など魚津市をイメージさせるものも多く見られた。

「魚津・小津」については、19件の応募であった。「小津」については魚津の語源とされている地名であり、歴史や伝統を引き継いでもらいたいとの理由が見られた。また、「さくら・葉」については特に本江小学校児童の応募で「さくら」が多かった。四校統合をイメージした「四つ葉」や新しい学校をイメージさせる「青葉」、「若葉」については保護者世代からの応募となっている。「野・里・川・水」に関するものは身近な自然を理由にするものも多く、前回の清流が「りんご」に関するものが20件程度有ったのに対し、「梨」に関するものは2件にとどまっている。

「あさひ・かがやき」については、県外からの応募が多く、新しい小学校のイメージを捉えてのものと考えられる。

「その他」については、旧校名を組み合わせたものやなどのほか、キーワード分類で分けられなかったものとしている。

